

まちの日記帳



“岩本牧場” 全道入賞へ期待膨らむ 第62回後志乳用牛共進会

8 / 22

第62回後志乳用牛共進会がニセコ町で開催され、後志管内6町村から計72頭が出品され、自慢の乳牛の品質などを競いました。

積丹町からは岩本勝男さん（野塚町）が5頭を出品し、タンロック アフターショック マリイファイ号がシニア3歳クラスで1位に輝きました。

入賞した1頭は安平町で行われる全道共進会への出場が予定されており、全道の舞台でも入賞が期待されることです。



“ウニ”を通じて食育を学ぶ 札幌発、現場体験ツアーが開催

8 / 27

食品の製造・流過程を学び食に対する理解を深める現場体験ツアーが総合文化センターなどで開催され、札幌市などから34名が参加しました。

この現場体験ツアーは北日本港湾コンサルタント（札幌市）の主催、食品スーパー道内大手のアークスの協力によって開催され、参加者は神哲治東しゃこたん漁業協同組合副組合長からウニの生態やウニ漁、河村博環境生態系保全技術指導員から漁業者を中心に取り組む磯焼け対策などの環境保全活動について説明を受けたほか、ウニ200個の殻むきも体験・試食し、食育についての知識を深めるとともに、積丹が誇る夏の味覚を満喫しました。



地域活性化へ、商工会の役割に期待 後志管内商工会情報交流会議が開催

9 / 5

町総合文化センターで北海道後志管内商工会連合会（堀川強太郎会長）主催の平成26年度後志管内商工会情報交流会議が開催され、後志管内の15町村の商工会役員など74名が参加しました。

交流会では松井町長が講師として「町の財政危機から学んだこと」をテーマに講演を行い、町が平成17年度に抱えていた10億4千6百万円にも上る累積赤字と、その解消に至るまでの様々な苦難や、積丹町におけるまちづくりの共通課題、そして農漁村における商工会に期待するものなどについて話し、参加者からは質問も飛び交うなど、大変意義のある交流会となりました。



走って、踊って、大活躍！ 第43回びくに保育所運動会

9 / 6

びくに保育所運動会が、美国町「憩いの広場」で開催され、23名の園児が走って踊ってと大活躍しました。

お父さんやお母さんに見守られながらかけっこや玉入れ、お遊戯や綱引きなどに全力で取り組んだ児童たちに会場からは温かい拍手や歓声が飛び交っていました。

また、つなひきなど保護者が参加する種目では、親子が一体となって盛り上がり、和やかな雰囲気での運動会となりました。

精一杯やりとげ、得意げな園児達。最後は園長先生から頑張った証しとしてメダルが贈られ、とても誇らしそうな様子でした。



漁業を身近にする教室 親子水産教室が開催！

9 / 7

石狩・後志漁業士会（中村貞夫会長）が主催する「親子水産教室」が町総合文化センターで開催され、町内から9組23人の親子が参加しました。

この教室は、地元の魚食普及を目的に後志管内各地の小学生等を対象におこなわれているもので、今回は今が旬のサケを使った教室を開催しました。

教室では神哲治東しゃこたん漁業協同組合副組合長を講師に迎え、サケの漁法などを説明し、その後はサケの捌き方やイクラの醤油漬けを作るなどし、子どもたちが町の基幹産業である漁業に親しむ機会となりました。



積丹の“味覚”をPR！ オータムフェスト2014

9 / 12 ~ 9 / 16

札幌市大通公園で開催された「さっぽろオータムフェスト2014」に今年も積丹観光協会が出店し、うに炊込みご飯やざんぎ、積丹の地酒などを販売し、積丹が誇る“食”のPR活動を行いました。

積丹町は今年も道内110市町村が出店する8丁目会場の「札幌大通ふるさと市場」に出店し、会場はそれぞれのまちの自慢の味覚を求める来場者で大変な盛り上がりとなりました。

このイベントへの出店は今回で7回目、このような町外に出向いてのPR活動が実を結び、積丹町がますます賑わいを見せることを期待します。



まちの日記帳